教員氏名

教科名	科目名		単位数	学年・クラス	○をつける				
工業(電気)	電気実習		3	3学年3.4組	クラス単位		習熟度別		少人数制
教科書名		副教材等の有無及び名称		必履修		学校必履修		必履修選択	
なし		本校実習教材							
教科・科目 の目標・ね らい 工業の電気分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。					同時展開 教員名	川邉美栄·養輪雅裕·福士恵介 ·須賀英雄·笠井孝哲·松野清高			

の目標・ね	工業の電気分野に関する基礎的な技術を美際の作業を せ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる			·衰輪推俗·備士思介 生·笠井孝哲·松野清高	
	指導計画 【年間指導計画】)具体的な指導目標 f導計画】	評価の観点	時数
通年	オリエンテーション 論理回路 I (1) 論理回路 I (2) 論理回路 I (2) 論理回路 I (2) 論理回路 I (2) 。 整流語プログラミング(1) C言言ートランプログラミング(2) フォートランプログラミング(2) リレーシーケンス制御実習(1) リレーシーケンス制御の設計(2) サイリスタ位相制御(1) サイリスタ位相制御(2) モー相誘導電電動機のの実験である。 三相相分を導電で動機のの事式に表現である。 本語である。 ※担応によりしず、する。 ※担導時間を設ける。。 ※担導時間を設ける。。 ※担導時間を設ける。。 ※担応によりしば、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・いろいろな電気現象を理解する。 ・いろいろな現象間の解し、理論式で表す・体験学習を通して実会得する・電気に関する諸量を果を正しく取り扱い、養討・吟味する能力を養	を観察し、性質や働き 相互作用の様子を理 際に応用する能力を 企正確に測定し、その結 合理的に整理し、検	「関が、ままでは、	3 3 3 3 3 6 6 6 6 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3